

”図書館に人を呼ぶ！”取り組み紹介

1. 図書館で行った取り組み（行う予定の取り組みを書いてもOK!）

内容・テーマ：ディスプレイ

もともと本校は昔ながらの？キリッとした図書館、研究書・専門書・貴重図書なども所蔵し、「大学図書館」の様な雰囲気を持つ図書館だった。しかし、生徒より「小学校の時にはこんな図書館じゃなかったのに」「中学校の時は入口に大きなかわいいぬいぐるみが置いてあった」という声を度々聞いて、ディスプレイに力を入れ始めた。「ディスプレイ」と言っても、本校が女子校であること、中学生もいることを考慮しておしゃれな飾りではなく、保育雑誌『プリプリ』を使った幼稚な飾りばかり・・・でも中学生だけではなく、高校生も予想以上に喜んで、触ってみている。だんだんディスプレイが立体になり、目を引く物になるにつれ、コーナーに近づく生徒（前はコーナーを作っても手に取られず空しかった・・・）、コーナーから貸し出されることも増えた。「取り組み」と言えるほどのものではないけれど、確実に貸出増加の要因となっている。

2. 工夫したポイント

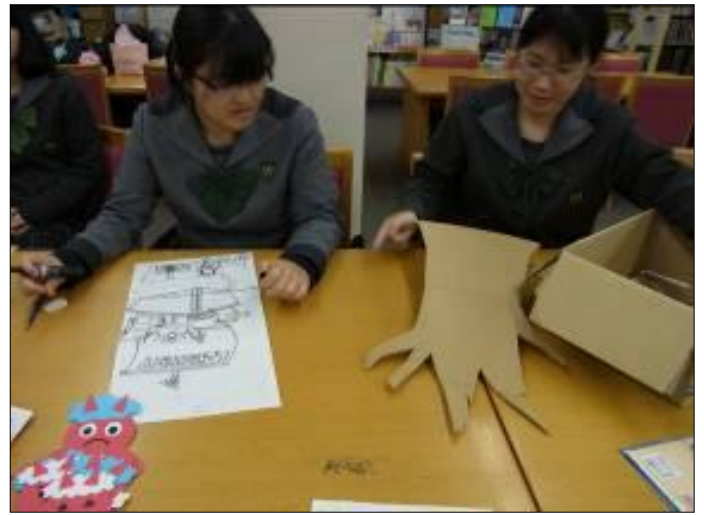
これ見よがしに、生徒の前で楽しそうに作る！

これ見よがしに、『プリプリ』を置いておく。図書委員じゃない子も「かわい～☆私も作ってみたいな～」と言ってくるし、出来上がるまで毎日作りに図書館に来る生徒も・・・！

もう一点、画用紙やペンなど必要な物はきっちり揃えておく。ビーズやビニールテープなど珍しい物を置いておくと「これ使ってなんか作っていい？」と言ってくる。今月は生徒達数人が「先生、天の川実行委員会を発足していいですか？」と言ってきた。図書館に天の川を作るらしい。ではじめると、そのディスプレイを皆に見て欲しくて友達を呼んでくるし、「コレできたら、七夕パーティー開きましょうよ」と提案してくる。簡単な七夕イベントなら、開いてもいいかな～と思っている。7日は試験中だけどね・・・

3. 結果・次回への反省

先生方も、「これ、すごいわね!!」と褒めてくれたり、自分が作ったコーナーで本を見ている生徒が居たりすると、図書委員も嬉しいらしい。「図書委員になったの決意を書いて」という宿題を出したら、「目を引くディスプレイを作る」と書いている子がたくさんいた。生徒にとっても「ディスプレイが人を呼ぶ」という認識でいるよう。





4月：立体桜（送別会の花使い回し…）

*ぬいぐるみも多数置いています。ほしがる子も多いのでたまに「ブックビンゴ」などイベントの賞品にしています。